

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第93号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和3年4月25日



端午 たんご

文秀 ぶんしゅう

節分端午自誰言
万古伝聞為屈原
堪笑楚江空渺渺
不能洗得直臣冤

節分 せつぶん 端午 たんご 誰 たれ より言 い わん
万古 ばんこ 伝 つた え聞 き く 屈原 くつげん が為 ため なりと
笑 わら うに堪 た へう 楚江 そこう 空 むな しく渺渺 びょうびょう たるも
直臣 ちやくしん の冤 えん を洗 せん 得 とく する能 あた わず

季節の移り変わる端午の節句は、誰より始まったのだろうか

大昔よりの言い伝えでは、楚の王族であった屈原を弔うためだと言う。

笑うに値するのは、楚を流れる川の水が、果てしなく拡がりながら、忠義の臣下である屈原にかけられた無実の罪を洗い終えることができずにいることだ。

※楚は、中国南部の長江一帯を勢力に収めた大国であった。屈原は楚の国の貴族の家に生まれ、学識と詩文にすぐれたことから、王に仕えた。国勢を強化しようと考えたが、反対派が事実でない事を主に告げ、屈原は宮廷から追放された。その後、屈原は絶望のあまり川に身を投げて死んだ。文秀は、詩人で江南地方の僧侶。

(NHKラジオテキスト「漢詩をよむ」より)

天上天下唯我独尊

生かされるいのち尊しけさの春

俳句などで春の季語として使われる「山笑う」季節を迎えました。新緑も美しく、野山にも里にも、さまざまな命が芽生えています。まさに、生命が爆発しているかのような光景を、私たちは今、目にしています。

お釈迦さまは「一切衆生、悉有仏性」と『大般涅槃經』で説かれています。生きとし



▲出石・但東仏教会主催の花まつり（於：勝林寺様）

生けるものは、すべて仏となるべき素質をもつていると言うことになります。

「一切衆生」の衆生とは、生命のあるすべてのもの、人間をはじめすべての生物と解されますから、単に人間だけを意味するのではなく、動物も植物も含めた生きとし生けるものがあります。そして、「仏性」とは、仏になるための種子とか原因といった意味合いがあります。この宇宙に存在するあらゆる物質が「一切衆生」ということになります。しからば、「仏性」を有する存在という意味では、人間も虫けらも草花も、現実世界においては、たまたまそれぞれの姿形をとっている仮の姿とも言えるでしょう。



ただ、動植物や物質に無くて人間だけに有るもの、それは「信ずる心」です。私たちの生まれながらの性質（本性）が、価値あるものだと信ずることを信ずることです。その価値あるものを守り、よりよい人生を送ろうとする願い、それが私たちに人間にとつての「仏性」なのではないでしょうか。お釈迦さまはそういう「仏性」が、私たちのなかにあることをはつきりと断言しておられます。

そのお釈迦さまの誕生日は4月8日で、全国の寺院で「花まつり」という法要を営みます。ただし、当地では一月遅れの5月に開催されます。

今から二五〇〇有年前、インド（今はネパール）のヒマラヤのふもと、カピラ城というお城近くの、ルンビニーの花園で、お釈迦さまはお生まれになりました。その時に、甘露の雨がお釈迦さまに降りそそいだといわれ、甘露の雨で身を清められたといわれています。これにちなんで、花まつりでは、誕生仏に甘茶をそそぎます。

お釈迦さまのお母さんは、マヤー夫人といえます。マヤー夫人は、白い象が胎内に入る

夢を見て、お釈迦さまをみごもったといいま
す。

生まれたばかりのお釈迦さまは、すぐに七
歩歩かれ、右手で天をさし、左手で地をさし
て「天上天下唯我独尊」と言われたといいま
す。もちろん、生まれたばかりの赤ちゃんが
歩き出して言葉を発することはあり得ませ
ん。ただ、仏教の開祖であるお釈迦さまの誕
生に際して、「天上天下唯我独尊」という言
葉を表した大切な意味がありました。私だけ
が唯一尊いということではなく、人間の信
ずる力を持ち合わせた尊い命の誕生を祝つ
た言葉なのです。さらに、生命の尊さに目
覚める言葉として、今に伝えられています。
その尊い生命は、「唯一無二の人」です。
他には代えられないもの、他の人では代替
えの不可能な人です。私という人間のコ
ピー、代替はありません。事故で子ども亡
くした夫婦に、慰めんとばかりに「子ども
さんはもう一人いらつしやるじゃないです
か」と声をかけがちですが、亡くなった生
命の代替はないのです。どんな人も、「唯
一無二の人」なのです。

S M A Pは『世界に一つだけの花』で、「ナ
ンバーワンにならなくてもいい、もともと
特別なオンリーワン」と歌います。「唯我
独尊」という意味に通ずるものがあります。
ただ、英語のオンリーワンの意味は、「一
つだけ」というらしいです。しよせん人間



は「独り生まれて独り死す」という独りの存
在であることも忘れてはなりません。私とい
う存在は、独りなのです。
松禪寺では5月5日、本堂前に誕生仏を
祀つた花御堂を設けています。ぜひ、お参り
下さい。
5月5日 花まつりにお参りください。午前9
時頃から午後5時まで、花御堂を本堂前に設け
ています。甘茶も飲んでいただけます。

ぬりえを楽しみませんか

大本山妙心寺のウェブページをご覧になつ
たことがありますでしょうか。今年4月に「妙
心寺ぬりえ」でひとやすみくが掲載されまし
た。紹介文を一部転載します。

「妙心寺の風景、仏像、お地藏さまで、ぬ
りえを作りました。比較的にやさしいものか
ら、線が細やかなむずかしいものまで、6つ
用意しました。自由にアレンジしてお楽しみ
ください。紙とは一味違った「パソコンぬり
え」もおすすめてですよ。

お仕事や勉強などのリフレッシュに
“ちよつとひとやすみ” してみたいかが
ですか？

ぬりえは個人で楽しむことを目的として制
作しています。商用での使用を除き、イベン
トや地域行事などで
も自由に使用してい
ただけます。」

大本山妙心寺の
ホームページ

[https://myoshinji.](https://myoshinji.or.jp)

[or.jp](https://myoshinji.or.jp) から「お知ら

せ」をご覧ください。

いろいろなぬりえを
ダウンロードできま
す。

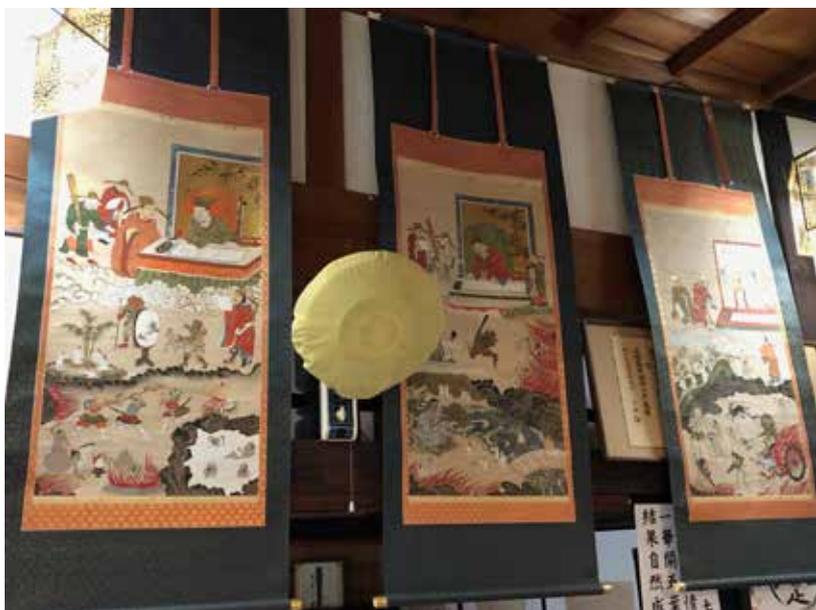


春彼岸法要を 執り行いました

3月20日、春分の日に「春彼岸法要」を営みました。例年ですと朝早くから当番さんによる食事作りが行われるのですが、コロナ禍のなかでは中止せざるを得ず、午前10時から先祖供養のみ行いました。25名余りの皆さんがお参りされ、皆さんと一緒に読経しました。お参りの皆さんには、御供したお菓子をお持ち帰りいただきました。行事の方法を考えな



がら、法要だけは何とかして続けていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願いします。



5月16日＝境内掃除のお願い

今年も昨年に引き続き境内掃除を行いますので、ご協力をお願いいたします。その第1回目は次のとおり行います。

日 時 5月16日（日）午前8時より
約2時間

作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺の草刈り、境内の草取り等

持 参 刈払機、松葉かきなど
参加対象 清滝、本城、柴地、大貝、佐

田、石原、久畑のそれぞれの
評議員と協力者1名を加えた
計2名のご協力をお願いいた
します。

